

# 緑化だより

No.211 令和6年12月号



クサギの実

- 季節の花 (ももよぐさ(ノジギク))
- 水生昆虫の話 (コバントビケラ属)
- 小さな世界こけ(ヒノキゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

ryokka 巧学の木

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県  
緑化センター  
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

# 季節の花

## ももよぐさ(ノジギク)

「父母(ちちはは)が 殿(との)の後方(しりへ)の ももよ草

百代(ももよ)いでませ 我(わ)が来(きた)るまで」

生玉部足国(いくたまべのたるくに) 万葉集 卷20—4326

これを訳しますと

(父母の住んでいるお屋敷の裏庭に咲いている、ももよ草の名前のように、百代までも元気で長生きしてください。私が任務を終えて帰ってくるまで。)

この歌は奈良時代の天平勝宝7(755)年、3か年の交代の防人<sup>さきもり</sup>として現在の九州の太宰府に派遣された息子の生玉部足国<sup>いくたまべのたりくに</sup>が、父母の住んでいる遠江<sup>とおとうみ</sup>の国(現在の静岡県の西部)の両親のことを思っ<sup>おも</sup>て詠んだ歌です。

ももよぐさ(百代草)にはいくつかの説がありますが、ここではノジギクを当てました。

中国の伝説で菊の花から滴る露を飲んで長生きした伝説の人物に因み、ももよぐさは幾代にも咲き続ける花から生命の復活などと言われ、寿を祈る草とされました。

ノジギクはキク科キク属の多年草で、中国地方以西の本州、四国及び九州の海岸に近い山すそや傾斜地に生えています。花は10~12月で、茎や枝先に直径3~4センチの白色の舌状花と黄色の頭花をつけて咲きます。咲き終わりごろには淡い紅色に変わるのが特徴です。

1924(大正13)年、牧野富太郎博士が兵庫県の大塩地域を調査したとき、「この場所はノジギクの日本一の大群落だ。」と報告しています。

又、NHKが郷土の花を募り、昭和29(1954)年にノジギクは兵庫県の県花に指定されました。

日当たりの良い瀬戸内海沿岸にはノジギクによく似た変種のセトノジギクが親しまれています。(上村)



ノジギク

# 水生生物の話

## コバントビケラ属

今年も冬の季節がやってきました。緑化センターの小川をのぞいてみると、秋に散った落ち葉が小川の底や石の影に沈んで静かにたたずんでいます。

そんな川に落ちた葉っぱを、コバシのように切り取って巣にしているトビケラの幼虫がいます。その名も「コバントビケラ」。まさにそのまんまの名前です。

トビケラ目 アシエダトビケラ科 コバントビケラ属である本属には、コバントビケラとウスイロコバントビケラの2種が本州で記録されていて、その幼虫は形態的によく似ているが、終令幼虫になると頭部黒色部の分布や後脚の黒色帯に違いがあることで見分けることができるのだそうです。



写真のコシトビケラは、ひっくり返った状態なのですが、上側の葉っぱは大きめのコバン型にカットされており、下側の葉っぱは、上側よりも小さくカットされているのも、特徴の一つです。直径が長い方に頭を出す穴があり、ほかの巣をつくるトビケラと同じように、穴から頭と足を出して移動します。川底に沈んでいる葉っぱをよく観察してみると、コシトビケラがいる場所には、葉っぱに小判型の穴が開いているので、水底の葉っぱを調べてみることで、そこに生息している可能性を探ることができます。



コシトビケラの幼虫と巣

生息域は、まず落ち葉が沈んでいることが条件になりますが、川の上流から下流まで幅広く分布しています。主に川の中の落ち葉だまりや、川の流れの脇にできる水たまりなどに生息しており、落葉や生物遺骸を食べています。

緑化センターの小川でも、水の流れが緩やかで落ち葉が沈んでいるような場所を探すと、見つけることができますので、ぜひチャレンジしてみてください。(西村)

## 小さな世界 こけ

### ヒノキゴケ

ヒノキゴケは、セン類ヒノキゴケ科で雌雄異株です。

暖かい地方のコケで、環境の変化には敏感で、育つ場所を選ぶようです。林内の日陰～半日陰の湿り気が多い場所を好み、水辺の湿度が高い腐植質の土壌や腐りかけた切株などに大きな群落を作っています。

和名の“ヒノキゴケ”については、ヒノキの樹形や葉の形に似たところはなく、なぜヒノキゴケと名付けたのかわかりません。葉は細長くやわらかで触れるとフワフワしています。そのため別名“イタチのシッポ”とも言います。

茎の長さは約7～8 cmで、周辺に細長い披針形の葉をつけます。

葉先は細く尖りますが柔らかく、触れても痛くありません。

朝露の降りている時、うす緑色をした葉は柔らかそうできれいです。乾燥すると弱く縮れます。

寒くなるときれいな緑色の株は枯れたようになりますが、暖かくなると緑色が戻ります。

胞子体は茎の途中から1～2本立ち上がり、蒴柄の長さは3～4 cm、胞子のうは円筒形でツルの首の様に湾曲しています。

コケテラリウムなどで楽しむには、高い湿度が保てるよう密閉する。20℃以下になるよう直射日光に当たらない日陰に置く。など気を付けてください。(山根)



ヒノキゴケ



湿潤な時のヒノキゴケ



乾燥した時のヒノキゴケ



ヒノキゴケの胞子体

## 研修会のご案内

- 12月 1日(日) 『クリスマスリース作り』  
リースの話とリース作り  
※要予約(先着 30名)受付終了、材料費 800円  
10:00～12:00 学習室 集合  
講師：森林インストラクター  
長井 稔
- 12月 7日(土) 『冬のバードウォッチング』  
散策しながら野鳥を観察します  
※自由参加、無料、双眼鏡持参、雨天中止  
10:00～12:00 学習展示館前 集合  
講師：日本鳥類保護連盟  
三次地方分会事務局長  
衛藤 慎也
- 12月 8日(日) 『粘土で正月飾りを作ろう』  
樹脂粘土をなどを使って、工作・色付け  
※要予約(先着 25組)、材料費 1,000円、小学生以上対象  
10:00～12:00 学習室 集合  
講師：デコクレイクラフトアカデミー上級講師  
モーモーアート代表 小田 みやこ
- 12月 13日(金) 第8回 ひろしま遊学の森  
「四季の移ろい」写真コンテスト公開審査  
※自由参加  
10:00～12:00 学習室 集合  
講師：二科会会員  
宗岡 泰昭
- 12月 20日(金) 『常緑広葉樹の見分け方』  
常緑広葉樹の枝葉の観察と学習  
※自由参加、無料、ルーペ持参  
10:00～12:00 学習室 集合  
講師：森林植物研究家  
埴田 宏

### ♪☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

※ 12月の休園日は2日、9日、16日、23日の月曜日  
及び、年末年始は12月29日(日)～1月3日(金)です

レストハウスは12月(月)、(木)  
及び年末・年始は12月28日(土)～1月3日(金)休業します

### ◎ 展示会

場所: レストハウス  
(ボード展示)

ひろしま遊学の森 第16回 こども写生大会作品展  
～12月19日(木)



「こども写生大会作品展」より